

IMA検定

マーケ  
概論

アクセス  
分析

サイト  
集客

Professional IMA

FACE 5-2

IMA 研究所編

- 5-1 Looker Studio とは
  - 5-1-1 Looker Studio で実現できること
- 5-2 レポート作成の流れ
  - 5-2-1 データの接続
  - 5-2-2 グラフの選択と表示内容の選択
- 5-3 応用機能
  - 5-3-1 コントロールについて
  - 5-3-2 フィルタについて
  - 5-3-3 データの統合について
- 5-4 GA4 データの可視化
  - 5-4-1 GA4 データの接続方法
  - 5-4-2 可視化を推奨する項目
- 5-5 広告データの可視化
  - 5-5-1 Google 広告との連携方法
  - 5-5-2 他広告媒体との連携方法
  - 5-5-3 可視化を推奨する項目
- 5-6 その他機能
  - 5-6-1 レポートを共有する
  - 5-6-2 レポートを自動更新する
  - 5-6-3 作成したレポートを定期的に自動でメール送信する

### 【5-1 Looker Studio とは】

LookerStudio(旧データポータル)は 600 種以上のデータソースを元にレポート形式にまとめることができる Google が提供しているサービスです。

コンセプトは

“優れたビジネス意思決定のための、比類のない柔軟性を備えたセルフサービス ビジネス インテリジェンス”[引用元](#)です。

ビジネスの意思決定に必要なデータの可視化や、生産性の向上のためには非常に有効なサービスとなっています。

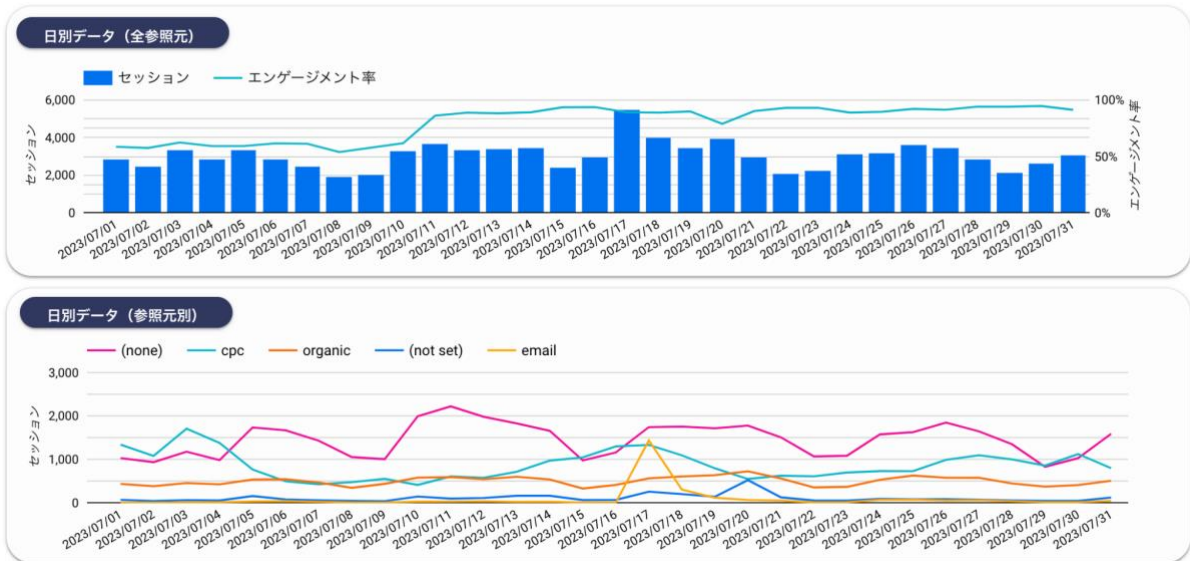
LookerStudio はいわゆる BI ツールと呼ばれており、複数のデータを集約したうえで各データの分析やグラフ・表に変換することで改

善点やボトルネックを発見するために使われます。  
 今回は広告運用やWebサイトの管理をする中での利用シーンを想定した内容をお伝えします。

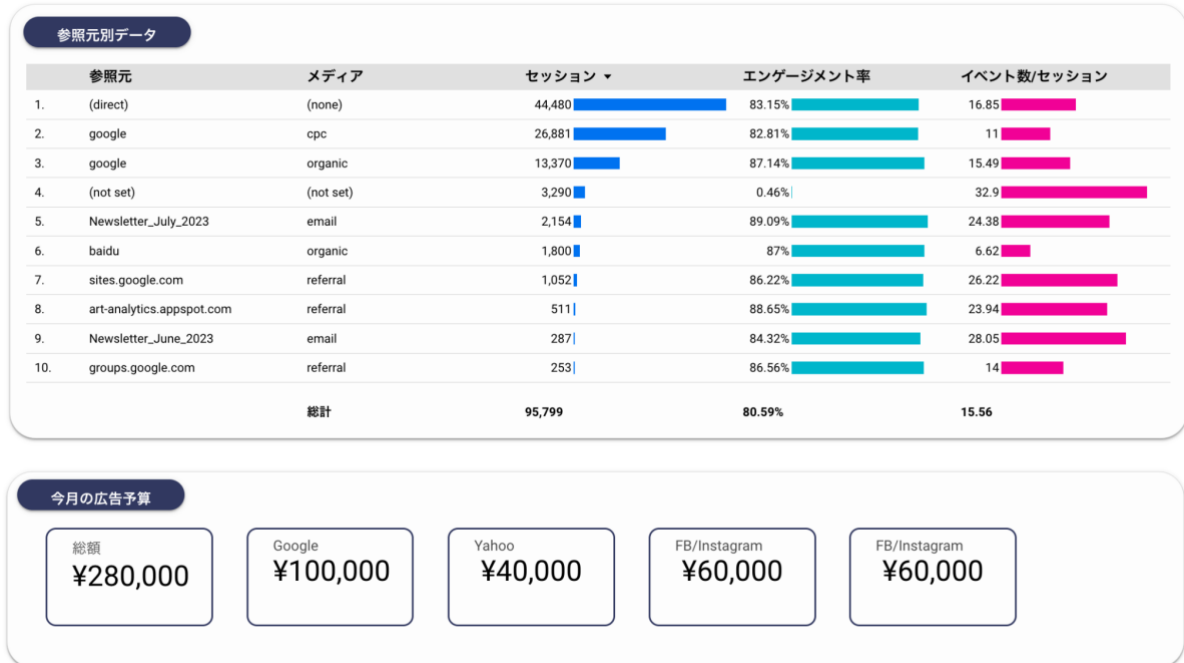
## 【5-1-1 Looker Studio で実現できること】

実現できるものとしては、下記のようなものがあります。

- ・データを魅力的かつ理解しやすい形式として表示する



- ・複数のデータソースを一括で表示、管理する



紹介した内容は利用シーンのほんの一部であり、分析する内容や接続するデータ等の用途別に自由にレポートを作成することができます。

広告運用やWebサイトの管理を行っている現場では下記のような利用シーンがあります。

- ・運用している広告の成果をグラフや表にまとめて視認性を上げる
- ・日々管理している広告やウェブサイトを一元管理する
- ・経営指標を可視化することで課題発見を早期化する

特に広告のレポート作成は都度作成していると多くの時間が必要になりますが、**LookerStudio**を利用することでレポート作成の自動化を実現することも可能です。

また、ウェブサイトの分析に関しても「GA4 を見るができないけど、日々の数値を追いたい」といったお客様のご要望を叶えることも **LookerStudio** なら可能です。

そのため、レポートを作成するときは社内向け・社外向けのどちら

へ向けたレポートなのか、何を表示することで情報を正しく伝えられるかを念頭に置いて作成するようにしましょう。

## 【5-2 レポート作成の流れ】

続いて LookerStudio でのレポートの作成方法を説明します。基本的には3つのステップで作成することができます。

- 1.表示したいデータを接続する
- 2.接続したデータの表示方法を選ぶ
- 3.データ内のどの項目・数値を表示するかを選ぶ

それぞれの詳細を説明します。

### 【5-2-1 表示したいデータを接続する】

利用開始前にデータソースに設定するデータを準備して下さい。接続できるデータソースと表示できる内容の例として代表的なものは下記になります。

Google アナリティクス：サイトのアクセスデータやコンバージョン数

Google 広告：キャンペーン毎の数値や配信状況

スプレッドシート：Google 広告以外の CSV で出力したデータや経営情報など

データの接続は下記の流れで行います。

- ①「データを追加」から追加したいサービスを選択する

ファイル 表示 ページ ヘルプ



- ②選択したサービスの指示に従い、接続したいアカウントやデータを選びます。

③メニューバー内「リソース」から「追加済みのデータソースの管理」に選択したデータが表示されていれば接続完了です。

名前	コネクタの種類	種類	レポートで使用	ステータス
GA4 - Google Merch Shop	Google アナリティクス	埋め込み	1 個のグラフ	正常に接続

注意点として、Google のサービスを接続する場合は LookerStudio を利用時にログインしている Google アカウントと該当の Google サービスでログインしているアカウントが一致している必要があります。

Google 広告との接続を例にすると、LookerStudio を利用時にログインしている Google アカウントが A の場合は、接続したい Google 広告アカウントを A が保有している必要があります。もし保有していない場合は、接続時の選択肢に表示されませんのでご注意ください。

### 【5-2-2 接続したデータの表示方法を選ぶ】

表示したいデータに応じて一覧表示したい場合は表を、推移を見たい場合は時系列グラフを、比率を見たい場合は円グラフなど 38 のグラフから適切なものを選びます。

代表的なものとしては、表・スコアカード・時系列グラフ・円グラフがあります。

例えば、GA4 のデータにおいてセッション数を基準に分析する場合、下記のようなグラフの使い方ができます。

表：参照元別のセッション数を一覧表示する。  
 スコアカード：セッション数と前月比を表示する。  
 時系列グラフ：単月のセッション数を表示することで日別の動きを見る。  
 円グラフ：デバイス別のセッション数を表示する。

## 表

セッションの参照元	セッション
(direct)	56,679
google	46,953
(not set)	3,726
baidu	1,764
sites.google.com	878
Newsletter_July_2023	615
art-analytics.appspot.co...	556

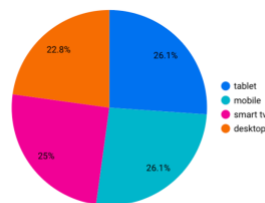
## スコアカード



## 時系列グラフ



## 円グラフ



セッション数だけでも様々な角度から表示することができ、他の指標とかけあわせることで新たな傾向を分析することができます。

### 【5-2-3 データ内のどの指標・数値を表示するかを選ぶ】

グラフを選択した後は、データソースから接続したデータを選択します。

その後、接続したデータから抽出できる内容を元にディメンションと指標を選択します。

GA4 の探索レポートでも同様の選択欄が存在しますが、ディメンションはセッションの参照元やページタイトル等の数字を伴わない項目。指標は表示回数やセッション数、イベントの発生回数等の数字を表す項目を指します。

GA4 と Google 広告それぞれのディメンション・指標の例としては

下記のようなものが挙げられます。

#### ▼GA4

##### ディメンション

- イベント名
- セッションの参照元/メディア
- ページパス+クエリ文字列
- 地域
- 月

##### 指標

- セッション
- エンゲージメント率
- イベント数
- コンバージョン

#### ▼Google 広告

##### ディメンション

- キャンペーン
- 検索キーワード
- 広告グループ

##### 指標

- クリック数
- 費用
- 表示回数
- 検索広告のインプレッションシェア

データによっては期間を指定することも可能ですので、先月のデータのみや前年度のデータのみを表示することもできます。

他にも期間を指定することで比較データを表示することも可能ですので、効果が出た施策などを簡単に分析することができます。

### 【5-3 応用機能】

前述で紹介した機能以外にもレポート作成時におきえておきたい機能を紹介します。

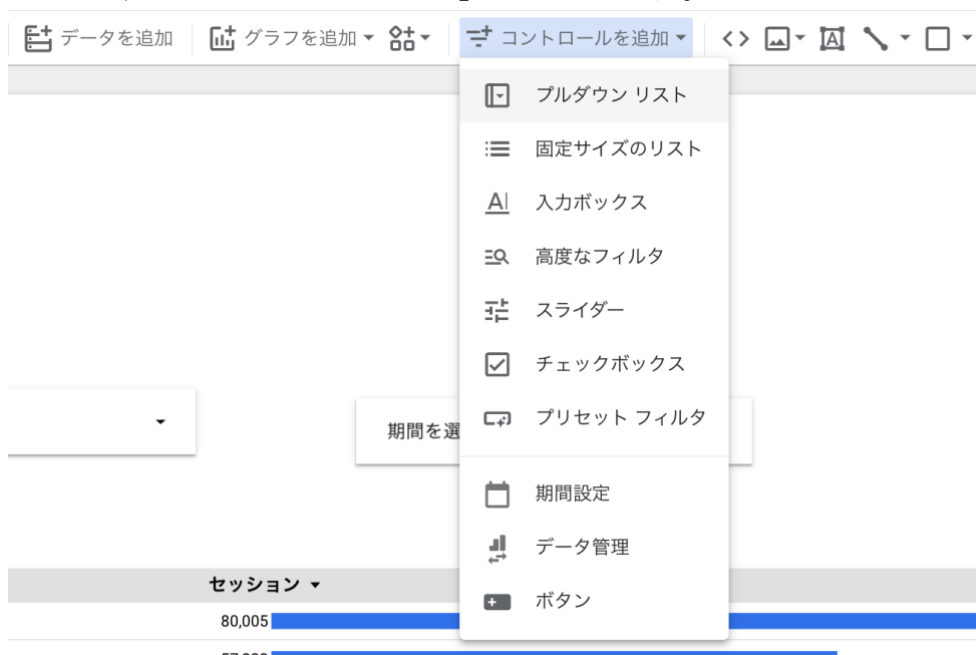
#### 【5-3-1 コントロールについて】

表示するデータにフィルタをかけたい場合、フィルタ機能の他にコントロールという機能を使うこともできます。

コントロールは接続しているデータの中から表示したい項目をプルダウンや期間指定で選択し、選択している項目のみを表示する機能です。

選択肢はディメンションから自由に選択することができます。

他にも表示したいデータの期間を指定することができる「期間設定」やデータソースの切り替えを即座に行うことができる「データ管理」、リンクボタンやレポート上の操作、指定のフィルタを1クリックで反映できる「ボタン」があります。



1つのレポートを複数人で運用する場合は、人によって確認したいデータが異なる可能性もあります。そんな場合は、各個人が見たいデータに即座にたどり着くことができるようコントロールを活用することをお勧めします。

### 【5-3-2 フィルタについて】

各グラフに対して表示したいデータや内容を制限することができる機能です。

一致条件または除外条件を選択し、任意のディメンションや指標からそれぞれにあったテキストや数値を指定することで希望のデータのみを表示することができます。

例えば、GA4 のデータを表示するグラフにおいて「広告経由のデータのみを表示したい」場合は、一致条件かつ「セッションのメディア」を指定し、「cpc を含む」と設定すると cpc 経由(広告経由)のデータのみが表示されます。

フィルタの作成

名前

GA4 - Google Merch Shop

一致条件

項目を選択

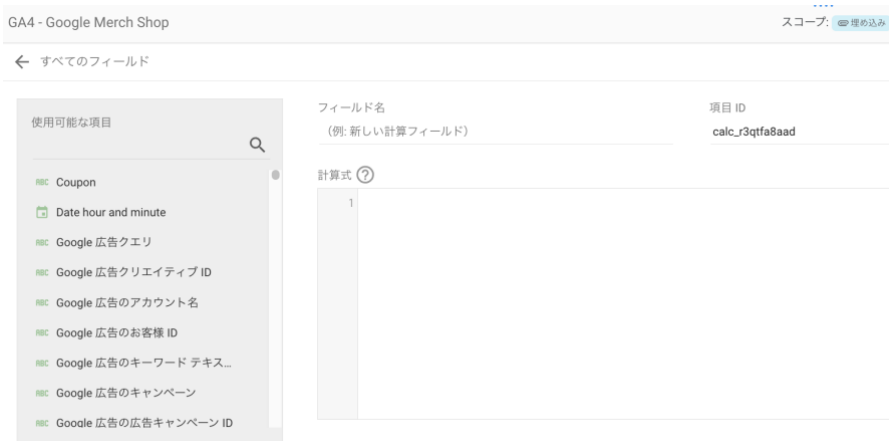
AND

フィルタを設定しない場合は接続したデータに含まれている全てのデータが表示されますので、必要に応じて設定するようにしましょう。

### 【5-3-3 関数について】

既存のディメンションや指標では表示できない内容を、定められた関数を使うことで表示することができます。

関数には、指定の条件を満たすテキストを表示するものや計算式、集計などがあります。



もし、既存の項目で実現できないことがある場合は関数一覧から任意の関数を選択し、条件に合うような関数を組み合わせることをお勧めします。

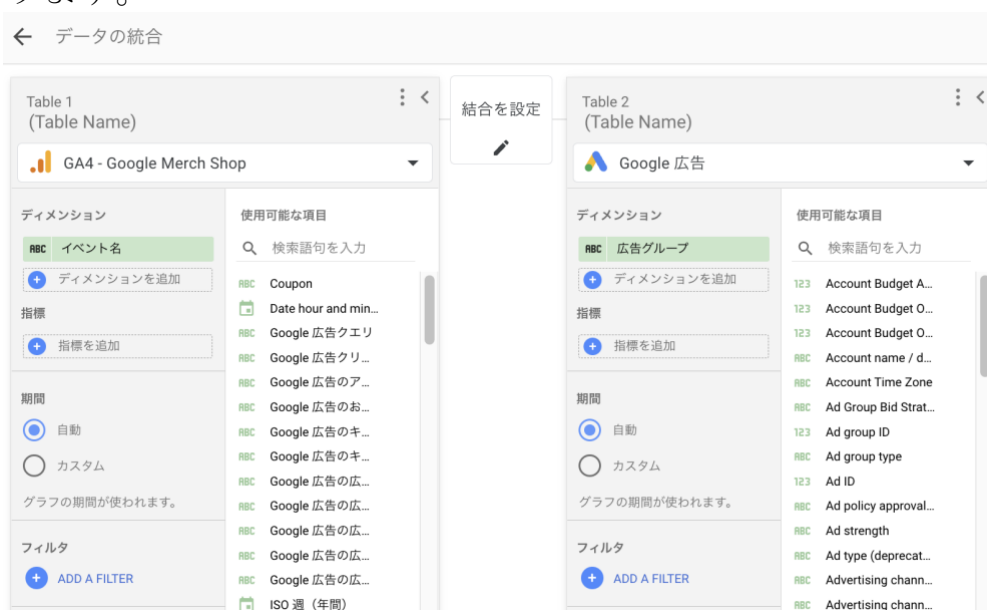
## 関数一覧

<https://support.google.com/looker-studio/table/6379764?hl=ja>

### 【5-3-4 データの統合について】

データの統合は、データソースが異なるデータを 1 つのデータソースとして扱う機能です。

必要な条件として、データ毎に共通するディメンションが必要になります。



データの統合を行うことで通常のデータ接続では表示できなかった内容を一括表示することができます。

例えば Google 広告と Google アナリティクスを統合する場合、共通するディメンションとして広告のキャンペーンや日付などを指定し、それぞれに適合する指標を 1 つのデータとして表示することができます。

基本的には統合せずとも十分なデータを表示することができますが、データの見せ方をスッキリさせることや今までは見えなかった数値の発見に繋がりますのでぜひ活用してください。

#### 【5-4 GA4 データの可視化】

GA4 では UA と比べて表示できる内容のカスタマイズ性が高く、様々な角度から分析できるようになりました。

しかし、UA で見ることができていたデータによっては探索レポートを用いて自分自身でカスタマイズする必要があります。

それにより日頃から GA4 に触れていない方は確認したいデータの表示方法が分からず困るケースも多く見られます。

特に Web サイトの分析に明るくないお客様の場合は GA4 を見ていただくことが難しいのでお客様が見たいデータ・成果指標として出せるデータ等を LookerStudio で作成しましょう。

LookerStudio ではレポートの複製が可能ですので、一度テンプレートを作ってしまうと他の案件にも活用することができます。

##### 【5-4-1 GA4 データの接続方法】

これまでの基本情報を踏まえて GA4 を LookerStudio に接続する方法をご説明します。

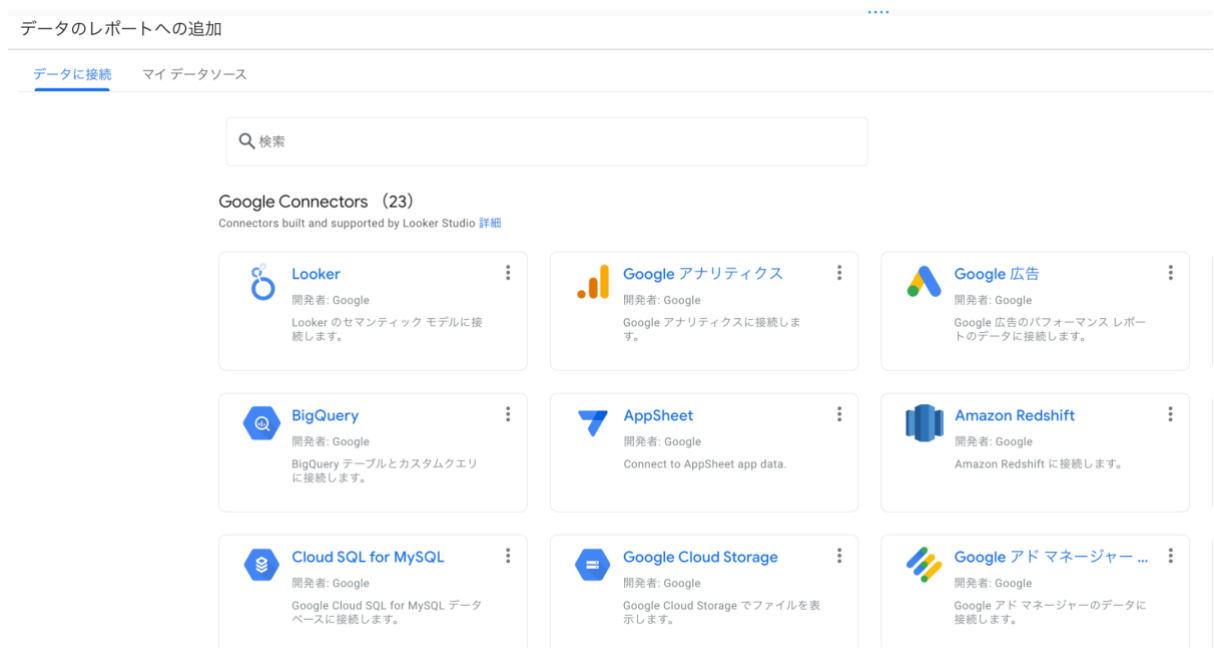
下記に記載する手順に沿って、お持ちのアカウントでデモデータを作成してみてください。

※LookerStudio と Google サービスを接続する場合は、両データにおいて編集者やオーナー権限を保有している必要があります。

- ① <https://lookerstudio.google.com> を開き、空のレポートを選びます。  
(テンプレートを使用することも可能です。)




- ② 「データを追加」をクリックし、「Google アナリティクス」(以下 GA)を選択します。



- ③ 接続したい GA のアカウントを選択することでアカウント配下の

プロパティが表示されますので、目当てのGA4プロパティをクリックします。






← データのレポートへの追加

 **Google アナリティクス**  
 開発者: Google  
 Google アナリティクス コネクタを使用すると、ユニバーサル アナリティクスのレポートビューまたは Google アナリティクス 4 プロパティに接続するデータソースを作成できます。  
[詳細](#) [問題を報告](#)

アカウント	プロパティ
Demo Account	GA4 - Flood-It! GA4   153293282 GA4 - Google Merch Shop GA4   213025502 UA - Google Merch Shop UA-54516992-1

GA4 - Google Merch Shop

④ 「グラフを追加」 から表示させたいデータに適したグラフを選択し、レポート上に表示させます。

← 12/18 ページ →  データを追加  グラフを追加   コントロールを追加 >> 

表

スコアカード

Total 1,168 Sessions 69.3K

期間

棒

円

セッションの参照元

⑤ グラフをクリックするとページ右側に表示されるメニュー内の「データソース」を選択すると接続可能なデータが表示されます。

⑥ ⑤で表示されたデータをクリックすることで接続完了です。

その後はディメンションや指標に表示させたい項目を選択することで、自由にデータを可視化することができます。

【5-4-2 可視化を推奨する項目】

①参照元毎のページ閲覧状況

利用しているグラフ：棒付きデータ表

データソース：GA4

ディメンション：参照元、メディア

指標：セッション、エンゲージメント率、イベント数/セッション

セッションの参照元 / メディア	セッション	エンゲージメント率	セッションあたりのイベント数
(direct) / (none)	80,005	91.55%	26.32
google / organic	34,123	89.38%	30.57
google / cpc	23,923	97.2%	14.61
(not set)	10,483	0.52%	45.22
art-analytics.appspot.com / referral	4,560	88.03%	35.49
Newsletter_Sept_2023 / email	3,238	90.06%	45.1
sites.google.com / referral	2,068	90.62%	46.54
baidu / organic	1,089	98.35%	7.63
Newsletter_July_2023 / email	730	91.37%	55.7
support.google.com / referral	622	92.93%	25.97
bing / organic	557	87.43%	31.68
mail.google.com / referral	554	88.45%	34.29
perksatwork.com / referral	414	89.13%	53.34
udemy.com / referral	322	82.61%	22.23
Newsletter_Sept_2022 / email	267	87.64%	47.17
groups.google.com / referral	258	89.53%	36.64
Partners / affiliate	159	93.08%	19.52
s0.2mdn.net / referral	137	93.43%	4.19

②ページ毎の閲覧状況

利用しているグラフ：棒付きデータ表

データソース：GA4

ディメンション：ページパス+クエリ文字列

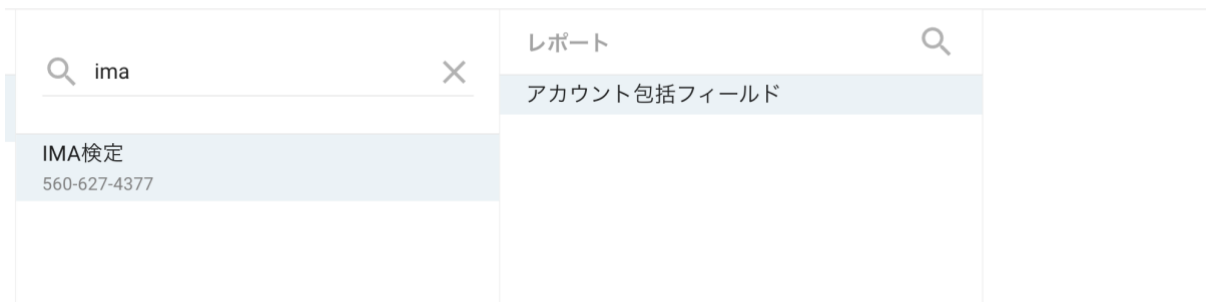
指標：総ユーザー数、視聴回数、セッション、エンゲージのあったセッション数、エンゲージメント率

ページパス+クエリ文字列	総ユーザー数	セッション	エンゲージのあったセッション数
/	52,349	69,982	62,038
(other)	19,728	27,782	24,406
/basket.html?vid=20160512512	12,618	18,543	13,852
/basket.html	12,725	18,445	14,040
/signin.html	12,177	18,124	13,778
/Google+Redesign/Stationery?tpt=theme1_en...	13,510	17,782	10,053
/Google+Redesign/Apparel/Mens?tpt=theme...	12,875	17,705	12,742
/Google+Redesign/Stationery?sortci=newest...	13,508	17,498	16,348
/Google+Redesign/Apparel/Mens?sortci=new...	12,702	16,818	12,250
/Google+Redesign/Clearance	12,263	16,203	11,783

**【5-5 広告データの可視化】****【5-5-1 Google 広告との連携方法】**

①GA4 データの接続方法①と同じ

②Google 広告をクリックし、表示させたいアカウントを選択することで表示される「アカウント包括フィールド」を追加します。



③上述の④~⑥と同じ手順で操作することで接続完了です。

**5-5-2 他広告媒体との連携方法**

他広告媒体のデータを接続する場合は 2 種類の方法を主に使用します。

- ①Google スプレッドシートにデータを転記のうえ接続する
- ②PartnerConnectors を使用する。(一部有料)

Google 広告以外に主に出稿している Yahoo 広告、Facebook(Meta) 広告を例に

①の方法で接続する方法をご説明します。

①まずは各広告管理画面でレポートを出力する準備をします。

Yahoo!広告・Facebook(Meta)広告の管理画面で標準機能の「レポート」で表示させたいデータを出力するテンプレートを作成します。

②テンプレートを CSV 出力し、スプレッドシートに転記する。

③スプレッドシートや GA4 や Google 広告と同様の手順で接続する

上記手順は Google App Script を用いることでレポート出力からスプレッドシート転記の作業を自動化することも可能です。

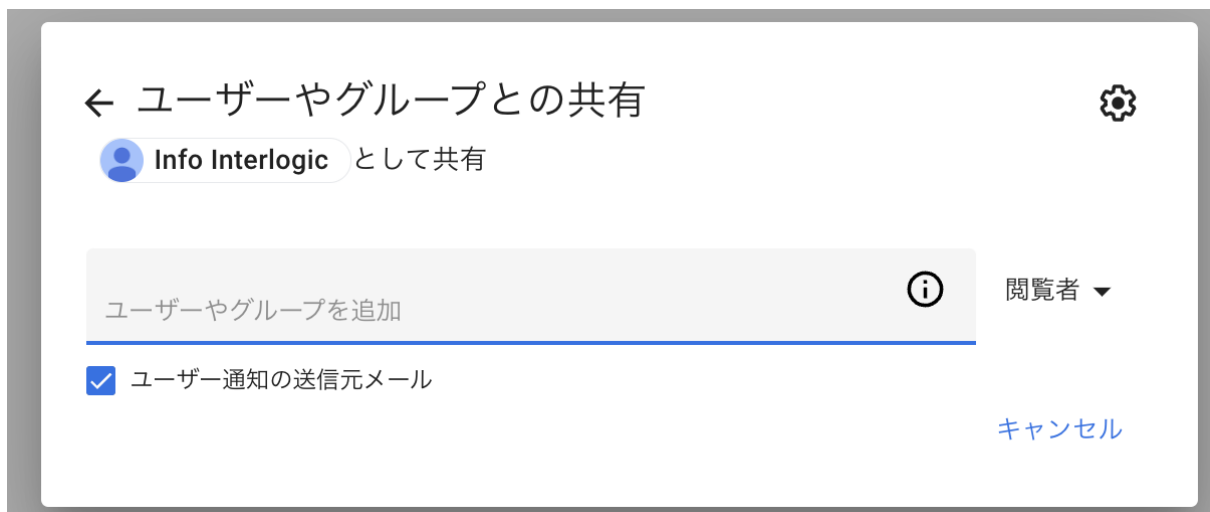
### 【5-5-3 可視化を推奨する項目】

- ・表示回数
  - クリック数
  - 平均クリック単価
  - 消化金額
  - 広告のステータス
  - インプレッションシェア
  - コンバージョン数

### 【5-6 その他機能】

#### 【5-6-1 レポートを共有する】

作成したレポートは「共有」から任意のメールアドレスを追加することで閲覧権限を付与することができます。  
これにより都度レポートを共有する手間がなくなり、分析担当者以外にも手軽に情報共有を行うことが可能です。



#### 【5-6-2 レポートを自動更新する】

3.応用機能の「コントロール」についてで触れました「期間設定」を用いることで一部データを自動更新することができます。

例えばGA4のデータですと、期間設定で「先月」をしておくと毎月1日になると前月1ヶ月分のデータへと表示内容が自動的に切り替わります。

他にもリアルタイムのデータソースを接続している場合は上記の自動更新機能を使用することができます。

The image shows a date selection interface with two side-by-side calendars for August 2023. The left calendar is labeled '開始日' (Start Date) and the right is '終了日' (End Date). Both calendars have the 1st and 31st highlighted. A dropdown menu at the top right is set to '先月' (Previous Month). Buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '適用' (Apply) are at the bottom.

### 【5-6-3 作成したレポートと PDF ファイルを自動で定期的にメール送信する】

配信のスケジュール機能を使用すると、任意のタイミングでレポートを自動配信することができます。

この機能を用いることでこれらのことが実現できます。

- ・ 定例ミーティングの〇時間前に関係者にレポートを送信
- ・ お客様への定例報告
- ・ 運用状況のモニタリング自動化

送信対象・送信するメッセージ・対象ページ・送付タイミングを設定することができますので、状況やレポートに応じて配信スケジュールを設定することで工数を減らすことも可能です。

## メールの配信



このレポートのメールの配信をスケジュールします。[スケジュールの詳細](#)

設定

フィルタ

差出人	Info Interlogic		
宛先	<div><span>Info Interlogic</span> 他の受信者を追加 <span>ⓘ</span></div> <input type="checkbox"/> 件名とメッセージをカスタマイズする		
ページ	1, 2, 3 ▼		
開始時刻	2023/09/30	8:00 ▼	GMT+09:00 日本標準時
リピート	毎日 ▼		
<input type="button" value="今すぐ送信"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>	<input type="button" value="スケジュールを設定"/>

## IMA 研究所編

本資料の一部あるいは全部について、一般社団法人 IMA 研究所からの文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁止します。